

市の財政力について

問 このほど民間シンクタンクの某研究所が、10万人以上の全国225自治体を対象に、2003年度の財政力ランキングを発表したが、市の場合はどうか、調査指標が不明であれば、県が実施している数値を伺いたい。又現在「少子高齢化」の時代を迎えているので、十分な財源確保を希望します

答 調査指標は、財政データやプログラムが現時点では把握できないが、単年度の財政力指数は、普通交付税の算定基礎から新市一本算定で1・196となっており、県下全市町村で比較しますと、上位から4位、市レベルでは3位にランクされております。しかし、市はこれまで電源立地市として財源に恵まれてきました。平成18年度をピークに右肩下がりとなります。

日本脳炎予防接種について

問 厚生労働省が5月30日、日本脳炎予防接種に関する緊急勧告を出し全国市町村に予防接種勧奨中止の通達を出したが、市はどの様な対応をしたのか、又これまでのワクチンにかわるリスクの低いワクチンが開発された場合は、再開するのか伺いたい

答 予防接種の該当する保護者に対して、ハガキの郵送とケーブルテレビによる文字放送で広報し、関係医療機関で個別訪問により中止のお知らせをした。又リスクの低いと期待されている組織培養法によるワクチンを開発中であり、供給体制ができた段階で、接種の勧奨を再開する予定と伺っており、今後もその成り行きを見守り、適切に対処したいと考えている。

防災拠点機能の充実について

問 防災対策の見地から、公民館を拠点とした施設の整備や機能の充実又、運用面についてどう考えておりますか

答 公民館は、本部との情報収集伝達を執り行う方面隊として又、地域の避難場所として位置づけております。防災資機材は市の補助金により方面隊で整備しております。防災拠点としての運用は指摘のとおり機能の一層の充実が必要であります。公民館のあり方検討会において、地域防災活動の拠点としてのあり方を協議し、行政が旗振り役になり、自主防リーダーの育成や活性化を図って参ります。

実践的防災訓練と

災害弱者への対応について

問 災害経験や事例から、共通テーマを取り入れ、実践

を想定した訓練を行う考えはありますか

答 要援護者についても日頃から隣近所の話し合いの場を作り、互いに協力し合い、いざという時に備えていただきたいと思えます。初心に返り、自主防に共通の訓練テーマやDIG図上訓練を取り入れ、危機意識をもった実践訓練を身につけて頂きたいと思えます。

問 防災拠点への防災資機材の整備は、市が行うべきと思うが

答 今後、公民館のあり方検討会を通して検討して参ります。

問 避難地・避難路等の表示看板の早急な設置が必要と思うが

答 必要であると考えます。今後表示看板等作っていく方向で検討して参ります。